

設立趣旨書

1、趣旨

現役世代（20-60代）は多用の中、社会や家庭において重要な選択を迫られることになる。さらに責任世代（40-50代）は、職場では重要なポジションとなり、部下に適切な指導を行い、上司へは秩序と慎みをもって接し、家庭では、配偶者への気配り、子どもたちへ、より良い助言を行っていかねばなりません。そして、中学、高校、大学へと進むにつれ、学費の負担が重くなります。親も70-80代になるとサポートが必要になっていきます。そのような社会人が、心身ともに健やかで健全に暮らすためには、人生の軸となる指針が必要です。

人は、生きていく上での困難に疲れ切った人が少なくありません。そして疲れると、価値観が安易なものに流されてしまいます。お金、地位、異性、タレント、占い、社会で成功者と言われる人の言動など。どれも価値基準が流されやすいものです。

ですから、心が上下左右に揺れてしんどくなりアディクションをもちやすくなります。逆に自分は正しいと自己主張が強くなると自分本位になり、他者の多様性を認めなくなり孤立を生みます。

ネット社会は、誘惑の宝庫です。また、陰湿な面もあふれ出しています。

そこで、ニホン・ネットキリスト教会が、これから行おうとする聖書の学びの取り組みは、人を自分本位や悪の誘惑に流されることからの予防にもなり、人生の意味を知り、自分自身を知り、背伸びしない等身大の自分が自然体で生きる「気楽さ」と「力強さ」を「実感」できるようになります。そして、何より「愛」の本質を学ぶことができます。

聖書の学びは、人生の軸となるのに相応しく2000年以上前から書かれた書物で、1000以上の言語に訳された世界の大ベストセラーです。文学的に優れているだけでなく、内容は、行政学的、組織論的やリーダーシップ論、心理学など幅広いジャンルで研究の対象となる書物です。さらに、社会のコミュニケーションで必要な愛の神髄が述べられています。日本人は、聖書を「中東の古い書物でわかりにくい」「宗教の書だから興味ない」と先入観や偏見により目を通す機会を逸しています。先ずは、教会から離れた人、人生に希望を見出せない方々へ、ネットというツールを通して聖書をわかりやすく伝えることを目指します。

2、経緯

2020年7月27日	香川尚徳氏、香川盛治氏、恋田寛正3名で毎月1回の勉強会開催
2020年12月21日	ネットを利用した聖書の学び会の方向性を共有し準備会立上げ
2021年1月25日	新たに3名の協力者が準備会の立上げに参加
2021年3月23日	ネットを使った聖書の学び会の方向性を決める
2021年7月6日	任意団体設立の総会招集
2021年7月13日	任意団体ニホン・ネットキリスト教会設立総会開催

2021年7月13日

任意団体「ニホン・ネットキリスト教会」
設立代表者 恋田寛正